

収縮衝撃波に生じる変位の時間発展

愛媛大学大学院理工学研究科 岩本幸治

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター 村上匡且

目的 Guderleyの自己相似解で表される流れ場の安定性を線形解析の結果と比較し、解析と計算の妥当性を確認する。

内容 収縮衝撃波に変位を与えて時間発展計算を行った。

結果 変位の減衰／増幅を示す条件、その時間発展が解析と計算で一致した。

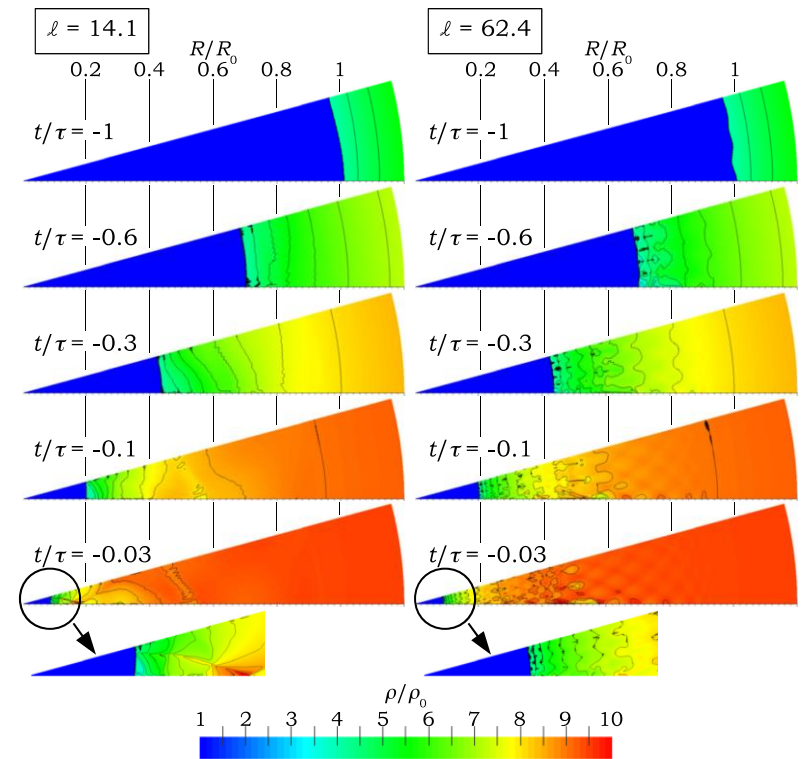
利用した計算機 SX-ACE

ノード時間 200時間

使用メモリ 10GB

ベクトル化率 85%

並列化 4並列



増幅(左)、減衰(右)を示す流れ場